



学校運営協議会だより

(コミュニティスクール)

令和6年3月11日

第75回 令和5年度第6回 学校運営協議会

(コミュニティスクール)



○開会あいさつ

・植月副会長

今年度の最終の会であり、みなさんからの忌憚ないご意見を出していただき、学校のための議論をしていただきたいので、よろしくお願いいたします。

・神田教育長

この学校運営協議会も1年間、みなさんにも大変お世話になり、中学校のために議論をしていただき、誠にありがとうございました。来年に向けて、今回がまとめとして良い会となります。中学校への今後のご協力をよろしくお願いいたします。

・浦島校長

今年度の学校運営協議会は、今回が最終ですが、これまで一般的に言われている地域に開かれた学校から、地域とともにある学校になってきているのも、みなさんのご理解とご協力のおかげです。今回は来年度に向けて、貴重なご意見をいただき、地域とともに中学校の運営について考えていきたいと思っています。今日はよろしくお願いいたします。

○学校の様子

卒業式に向け、1・2年生が賛歌実行委員を立ち上げて、卒業式にふさわしい歌にするために、日々取り組んでいます。日々の掃除でも掃き掃除や拭き掃除に一生懸命に取り組んでいるような、誰かのために動いている姿に子どもたちの成長を感じています。

○協議・審議

□学校評価について

学校運営協議会の委員の皆様からいただいた学校評価のご意見やご質問について一端をご紹介します。

(ご意見) 中学生から将来の目標・夢があるのは素晴らしいことだ。積極的な子どもさんは将来のことも掲げやすいと思うが、部活に入っていなかったり学校に来にくかったりする子どもさんは、夢など想像しにくいかもしれない。また、戸惑いながらの日々が一生懸命な子どもさんはそこまでの考えが及ばないかもしれません。



質問 Q) 職場体験については、体験する職場によって、違いがあるのではないかと思いますので、体験する職場を決める際に、先生方からもう少しきめ細かい指導をしていただけたらと思う。



A) 商工会にも協力していただき、地元の職場に受け入れの協力をしていただき、職場体験の受け入れ先を決めているので、来年度へ向けての改善に生かしたい。

質問 Q) ICTを活用した授業づくりを推進されている様子はよくわかります。中学校にお勤めの町の支援員の方の学習会というのはされているのか。



A) (町教育委員会からの回答) 町の支援員の方の勉強会は、年に1回実施している。特別支援に関わる勉強会を午後2時間になるが、誕生寺支援学校からのエキスパート事業ということで、講師を派遣していただき、支援員の学びや支援の改善につなげている。

□来年度に向けて（学校より）

今日いただいた貴重な意見を参考にして、来年度の組織づくりに生かしていきたいと思います。今年度の校内研修は、さまざまな経験や教科の先生方が同じベクトルを向いて、どうやって授業づくりをするか考えながら推進してきました。来年度新しく来られた方ともベクトルを合わせてやっていくことを大切に、来年度は、岡山の宮本先生からアドバイスを受け、より一層校内の研修が推進するよう取り組んでいきたいと思っています。

現在、生徒たちは、一人ひとりが前向きになって頑張っています。その気持ちを大切にしていきたいと思っています。いろいろなことにとっても前向きに取り組んでいますが、何か不安なことがあるときには、エネルギーを蓄える場所として登校支援室を設置しています。来年度に向けて登校支援室を利用しながら教室に向かおうとしている生徒もおり、生徒の実態に応じて、来年度も活用し、一人ひとりが元気に通える学校づくりを行っていきたくと思っています。

学校運営協議会の皆様が学校の応援団として、地域との橋渡しとしてこの一年間携わっていただきました。来年度はさらに地域に開かれ、地域とともにある学校づくりにご協力いただきたいと思います。委員のみなさま、一年間ありがとうございました。

